鶴山台団地跡地利用勉強会における検討結果について (報告1)

令和7年8月27日(水)

和泉市都市デザイン部 都市政策室 都市政策担当

鶴山台 団地再生事業について

2024年11月現在時点 スケジュール等は変更の可能性があります。

管理戸数3,283戸 ⇒ (集約後)2,413戸

事業区域 870戸

I期(3.7ha)+II期(2.8ha)=計6.5ha

「継続管理区域」

・・・・今後もURにて住宅管理を行うエリア2,413戸/17.9ha (1-66、98-101号棟)

「I期事業区域」

・・・・土地の用途転換を図るエリア500戸/3.7ha (80~97号棟)

スケジュール

OR6年度末~

公募にかけ、民間事業者へ土地を譲渡します。 土地を譲り受けた民間事業者が必要に応じて、 現物建物等を解体し、敷地整備を行います。

「Ⅱ期事業区域」

…土地の用途転換を図るエリア 370戸/2.8ha (67-79号棟)

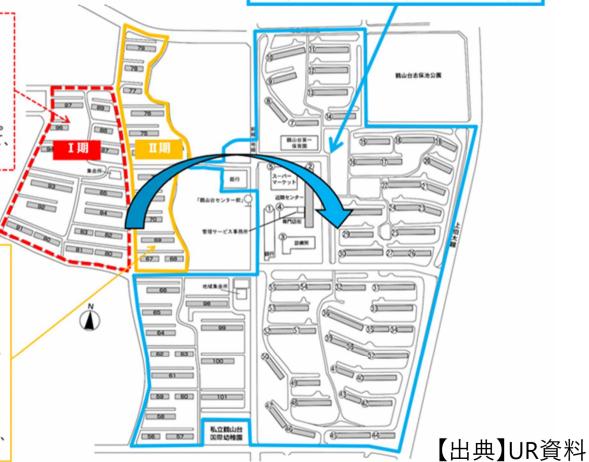
スケジュール

O~R7年11月

現在お住まいの方の移転期限とさせて頂いて おります。

OR8年度(最早)

公募にかけ、民間事業者へ土地を譲渡します。 土地を譲り受けた民間事業者が必要に応じて、 現物建物等を解体し、敷地整備を行います。



■検討体制

地域

勉強会

跡地利用の方向性、取組み内容について検討

市

UR





■地域住民アンケート

・実施時期:R5.4月(15歳以上の鶴山台住民の中から1,400名を無作為抽出)

·回答率 : 41.4%

•集計結果:

☞跡地利用の方向性について「**若い世帯が移り住み、鶴山台がにぎわうまちへ**」をまちのイメージとし、主に住宅地としての利用を図ることを確認。

☞具体的には、「<u>商業機能の充実</u>」、「<u>緑豊かで景観に配慮した住環境・まちなみ</u>」、「<u>公園・</u> 広場等、住民同士の交流の場」が多くの住民の方々から求められている事が分かりました。

【目指すまちの方向性】若い世帯が移り住み、鶴山台がにぎわうまちへ



:緑豊かで景観に配慮した住環境・まちなみを有する戸建て住宅地 住宅地利用

歩 行 空 間 :歩道の拡幅など、良好な歩行空間の確保を検討する路線

:東西の人の流れを確保するための路線(位置・形状は未定) 東西歩行者動線

商 店 街 区 : 商業機能の充実を図る区域

公園整備検討 :将来の需要に応じ、機能の拡充整備を検討する区域

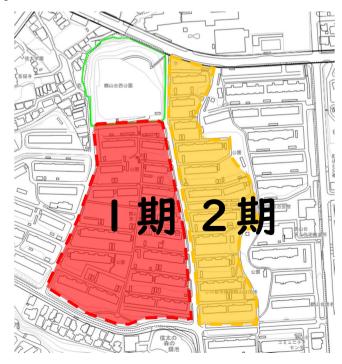
道路整備検討 :安全でゆとりのある道路空間の確保を検討する路線

今後のスケジュール (予定)

■URの団地再生事業スケジュール(予定)

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1期	入居者移転期限	公募開始	民間△譲渡	
2期			入居者移転期限	公募開始

※土地譲渡後の開発スケジュールは、事業者によるため未詳。





①鶴山台西公園の改修

②鶴山台49号線等の道路改良事業